

いちご一会とちぎ国体なぎなた競技リハーサル大会の概要

- 1 大会名 第62回都道府県対抗なぎなた大会
- 2 主催 公益財団法人全日本なぎなた連盟、栃木市、
いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会栃木市実行委員会
- 3 主管 栃木県なぎなた連盟
- 4 大会日程 令和3年5月22日（土）～ 5月23日（日）（2日間）
※5月21日（金）（前日）が練習日となっており、選手の受付も行います。
- 5 会場 関東ホーチキにしかた体育館（栃木市西方総合文化体育館）

6 大会規模

(1) 参加選手・監督等

種別		監督	選手	計	チーム数
(成年)	男子	人	47人	47人	
	女子	47人	188人	235人	47チーム
合計		47人	235人	282人	47チーム

(2) 役員

大会役員	競技役員	競技補助員	競技会係員	競技会補助員	合計
140人	112人	52人	87人	32人	423人

7 大会日程

日付	時間	内容	備考
5月22日（土）	—	開会式	新型コロナウイルス感染症対策により開催しない
	10:10～11:58	演技競技	1回戦～決勝戦
	12:45～17:01	試合競技	1回戦～2回戦
5月23日（日）	9:00～11:44	試合競技	3回戦～決勝戦
	12:10～12:30	閉会式	新型コロナウイルス感染症対策をしながら縮小して行う

8 競技内容

都道府県対抗なぎなた大会は、47都道府県から予選を勝ち抜いてきた選手たちが、演技競技（2人1組）と試合競技（5人制）を競います。

演技競技は、伝統的ななぎなたの技が洗練された形の「全日本なぎなたの形」の中から指定されたものを二人一組の演技者によって行い、その優劣を競います。演技者双方の姿勢・服装・態度・発声・呼吸と気持ちが調和しているか、打突部位を正確に気迫に満ちた打突をしているか、残心・間合・手の内・着眼など理合に叶った技であるか、そして、見る人に感動を与えたかなどの基準で判定されます。

試合競技は、二人の試合者が、定められた部位、面部（正面と左右の側面）小手部（左右）胸部（左右）脛部（左右の外ずねと内ずね）咽喉（のど）を確実に早く打突して勝負を競います。

9 新型コロナウイルス感染症対策

※基本的な感染対策は県が示したガイドライン（案）、全日本なぎなた連盟のガイドライン、日本スポーツ協会のガイドライン等に基づく対策を実施する。

- ・無観客での開催とする。
- ・選手監督控室を増設（仮設テント）する。
- ・競技中における選手のマスク着用を競技団体に要請する。面のマウスシールド着用も同様とする。
- ・開会式は実施しない。
- ・取材は事前申請制とする。

10 開催可否判断

以下のいずれかの判断基準の状況となった場合は、速やかに、競技団体に対し大会開催の中止を要請する。

- ・関東地方（1都6県）のいずれかの都県において、特措法に基づく緊急事態宣言が発令され、発令期間が大会開催月（5月）にかかる場合
- ・栃木県の警戒度レベルが、ステージ3（まん延防止重点措置）以上となり、イベント開催制限の要請期間が大会開催月（5月）に係る場合
- ・大会申込済の参加都道府県数のうち、1/4以上の棄権があった場合
- ・競技会に参加している者及び運営に係る者に、新型コロナウイルス感染症感染患者が発生し、競技運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合
- ・その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により、大会の開催が困難と想定される場合